

政策III 森林、林業・木材産業を支える地域や人材の育成

平成30年度の実施状況

①新規就業者対策として、林業に興味のある高校生や一般向けに就業体験会等を開催し、林業の仕事内容や魅力などを広めた。また、就業初期に必要な資格の取得やチェーンソー等の購入支援、家賃補助などを行い就業後の定着率の向上を図った。



高校生向け就業ガイダンス インターンシップ開催支援 山仕事ガイダンスinみやぎジョブカフェ 山仕事ガイダンス

【概要】  
 ・山仕事ガイダンス（2回開催）37人参加  
 ・高校生向け就業ガイダンス 14人参加（3校）  
 ・インターンシップ開催支援 1事業体（4人）  
 ・就業用機械準備支援 6事業体  
 ・定住環境等対策支援 1事業体  
 ・森林・林業教室受講者 8名

②就業後の経験年数に応じた体系的な研修を県独自に実施した。（森林施業プランナーの育成）



実践研修 森林施業提案書の成果発表

【概要】  
 ・森林施業プランナー育成支援 4人  
 ・林業人材育成ステップアップ研修 4事業体（5人）



③地域の取組として県南地域の木質バイオマス需給ネットワーク形成に向けた支援を行った。また、登米地域の「林業成長産業化地域構想」の策定支援を行った。

【概要】  
 ・木質バイオマス発電施設 1施設（川崎町）  
 [再掲：政策I・重点プロジェクト1]  
 ・「林業成長産業化地域」の認定 1地域（登米市）  
 [再掲：重点プロジェクト4]

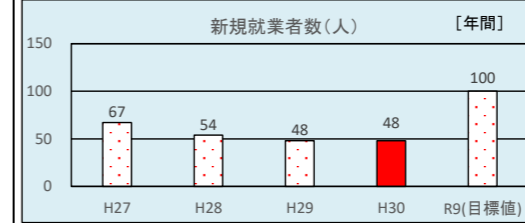


地域産の木質バイオマスの確保

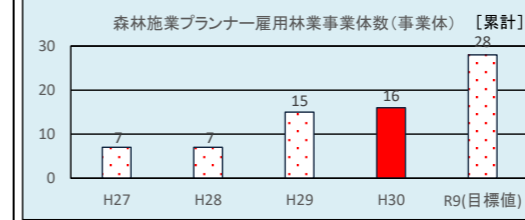
④自然や森林について県民に分かりやすく解説する専門家を養成するため、森林インストラクター及びみやぎ自然環境サポーター養成講座を開催した。

主な推進指標の達成状況

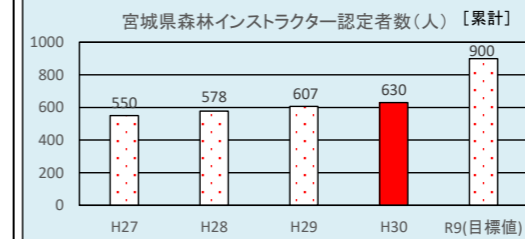
◎新規就業数



◎森林施業プランナー雇用林業事業体数の増加



◎宮城県森林インストラクター認定者数の増加



令和元年度の主な取組

- 県内の高校生を対象とした就業体験や各種就業ガイダンスを行い、林業の担い手確保を目指す。【林業担い手等育成・支援事業】
- 若手就業希望者に対して各林業事業体等で実施するインターンシップの開催経費等を支援し、就業希望者の林業の仕事に関する理解促進と就業の定着化を図る。【みやぎの里山ビジネス推進事業】
- 国が認定する森林施業プランナーの資格取得に向け、施業集約化や路網整備計画の作成等、施業提案スキルを習得するための研修を実施する。【温暖化防止森林づくり担い手確保事業】
- 林業普及指導員による森林・林業教室を開催し、林業担い手等の森林・林業に関する知識・技術の向上を図る。【林業普及指導推進事業】
- 県民参加型の森林整備活動などを通じ、自然環境の保全や森林、林業・木材産業と県民生活の関わりについて、県民理解の醸成を図る。【森林環境共生事業】

政策IV 東日本大震災からの復興と発展

平成30年度の実施状況

①県や国が主体となり海岸防災林の復旧に取り組むとともに、一部の区域については民間団体の協力を得ながら植栽を進めた。



海岸防災林の復旧

【概要】  
 ・海岸防災林の復旧  
 県単 8.7ha  
 国直轄 97.4ha  
 ・みやぎ海岸林再生  
 みんなの森林づくり活動  
 協定締結 8件  
 植栽 27.7ha

②特用林産物の放射性物質検査の徹底や出荷制限解除に向けた支援等を行った結果、出荷制限解除生産者数や出荷制限解除市町村・品目が増加した。



放射性物質対策を行ったほだ場（原木シタケ）

【概要】  
 ・放射性物質検査（食品） 911件  
 ・生産資材購入支援 9件  
 ・ほだ木等原木林再生実証 26箇所  
 ・原木きのこ出荷制限解除累計 44名  
 ・出荷制限解除数 3市（4品目）

③東京オリンピック・パラリンピックへの食材供給を視野に入れ、GAP取得に係る支援を行い販売拡大を図った。



【概要】  
 ・GAP新規取得費用への支援 1団体

みやぎGAP推進アドバイザーによる指導

④FSC認証を取得した南三陸町産材を利用した町内2例目となる建築物として、南三陸町生涯学習センターが開館した。



全体プロジェクト認証を取得した南三陸町生涯学習センター

【概要】  
 延べ床面積：1,780㎡ 木材使用量：916㎡（木材使用量の75%に認証材を使用）

⑤登米市森林管理協議会が中心となり、FSC森林認証に基づき「林業成長産業化地域構想」を策定し、認証材の供給拡大に向けた取組を実施した。

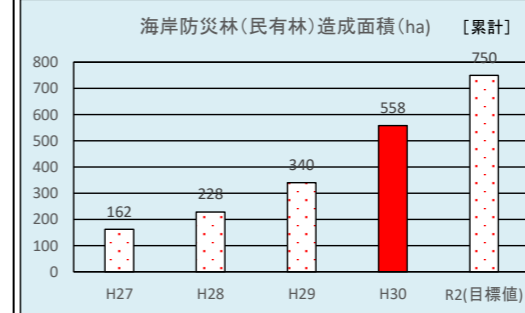


仙台市内でのイベント

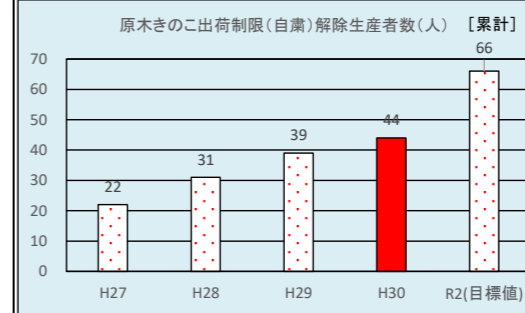
【概要】  
 登米市の認証材面積は平成30年度に4,474haが追加され、8,475haに拡大した。

主な推進指標の達成状況

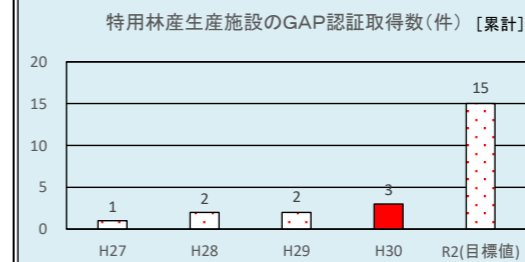
◎海岸防災林（民有林）造成面積の増加



◎原木きのこ出荷制限（自粛）解除生産者数の増加



◎特用林産生産施設のGAP認証取得数の増加



令和元年度の主な取組

- 海岸防災林の早期復旧に向け、円滑に事業を実施し、確実な復旧の進捗を図る。【防災林造成事業】
- 民間団体等との持続的な連携による海岸防災林の管理体制のあり方を検討する。
- 特用林産物の生産再開等に向け、放射性物質検査の徹底や出荷制限解除に向けた支援等を行い、出荷制限の解除を進める。【特用林産物放射性物質対策事業】
- 東京オリンピック・パラリンピックへの食材供給も視野に入れ、GAP取得に係る支援を行い、販売拡大を図る。【GAP認証取得推進事業】
- 森林管理協議会（FSC）の年次監査受検、製品開発等の取組を支援する。【森林認証取得等支援事業】
- 森林所有者を対象とした認証森林拡大に関する取組を支援する。
- 登米市森林管理協議会が取り組むFSC認証製品の安定供給に向けた「林業成長産業化地域構想（登米地域）」を支援する。【林業成長産業化地域創出モデル事業】

